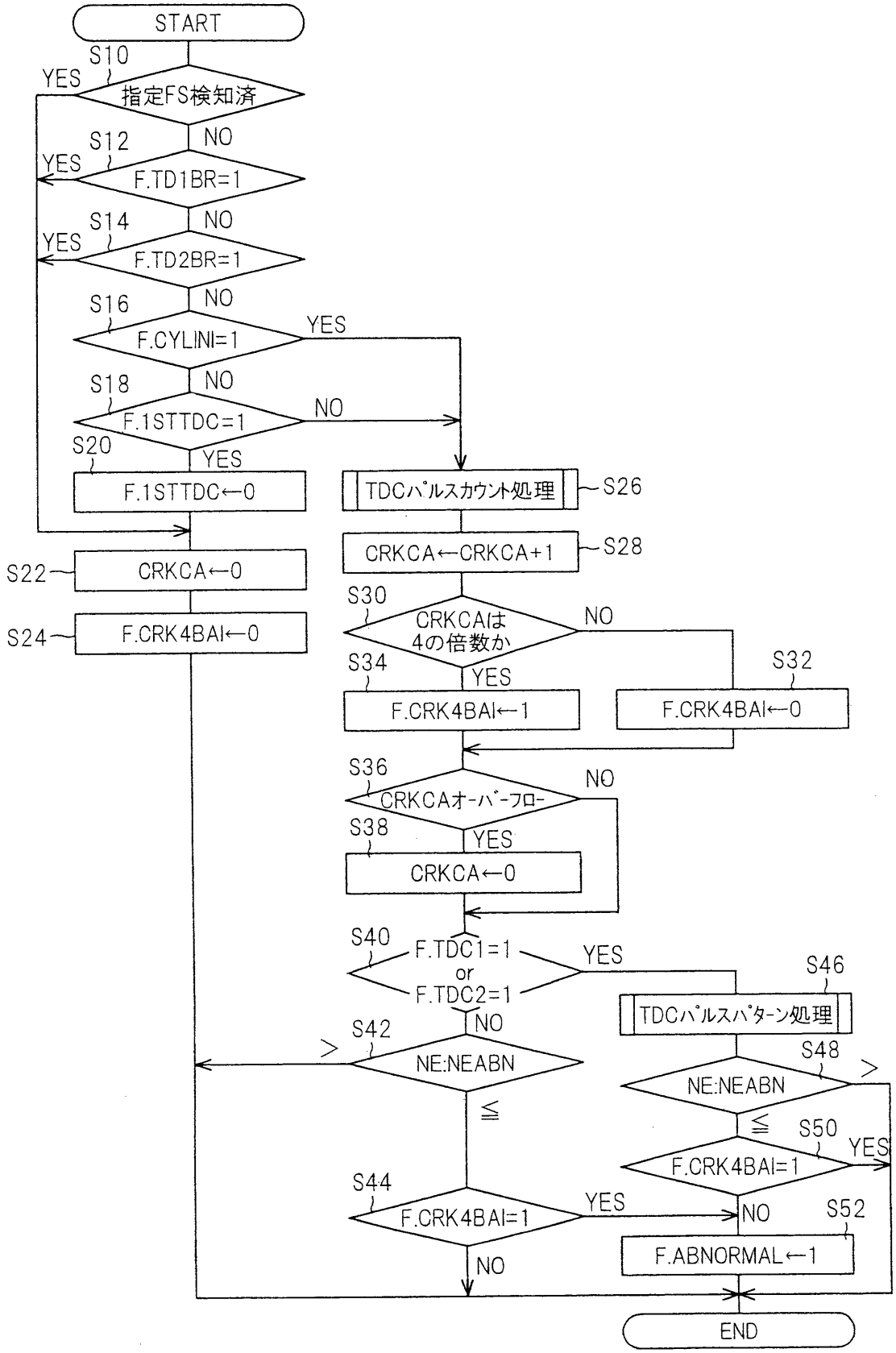
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成16年9月30日(2004.9.30)

【公開番号】特開2003-120397(P2003-120397A)
【公開日】平成15年4月23日(2003.4.23)
【出願番号】特願2001-315852(P2001-315852)
【国際特許分類第７版】
　Ｆ０２Ｄ　45/00
　Ｆ０２Ｄ　29/02
　Ｆ０２Ｄ　41/22
【ＦＩ】
　Ｆ０２Ｄ　45/00　　３４５Ｈ
　Ｆ０２Ｄ　45/00　　３４５Ｌ
　Ｆ０２Ｄ　45/00　　３６２Ｂ
　Ｆ０２Ｄ　45/00　　３６２Ｃ
　Ｆ０２Ｄ　45/00　　３６２Ｅ
　Ｆ０２Ｄ　29/02　　Ｂ
　Ｆ０２Ｄ　41/22　　３０１Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成15年9月18日(2003.9.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３４】
さらに、スロットルバルブ５０の下流には吸気温センサ１００が配置され、吸入空気温度ＴＡに比例した信号を出力する。また、左右バンクの、サーモススタット（図示せず）を介して冷却水通路（図示せず）には温度センサ１０２ａ，１０２ｂが１個ずつ配置されると共に、エキゾーストマニホルド７０の一方には温度センサ１０２ｃがもう１個配置され、エンジン温度（機関温度）ＴＯＨ（エンジン冷却水温ＴＷ）に比例した信号を出力する（温度センサ１０２ａ，１０２ｂ，１０２ｃは水温センサを兼ねる）。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８０】
この実施の形態は、気筒が判別されたとき、カウント値が所定個数の倍数であるか否か判断し、倍数ではないと判断されたとき、エンジン１６が逆転したと判別して停止する如く構成したので、６気筒の４サイクルの船舶用エンジン１６においても、その逆転を精度良く検出して防止することができる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図５
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図５】


START
S10
YES
指定FS検知済
NO
S12
YES
F.TD1BR=1
NO
S14
YES
F.TD2BR=1
NO
S16
F.CYLINI=1
YES
NO
S18
F.1STTDC=1
NO
S20
YES
F.1STTDC←0
TDCパルスカウント処理
S26
CRKCA←CRKCA+1
S28
S22
CRKCA←0
S24
F.CRK4BAI←0
S30
CRKCAは
4の倍数か
NO
S34
YES
F.CRK4BAI←1
S32
F.CRK4BAI←0
S36
CRKCAオーバーフロー
NO
S38
YES
CRKCA←0
S40
F.TDC1=1
or
F.TDC2=1
YES
S46
TDCパルスパターン処理
NO
S42
NE:NEABN
S48
NE:NEABN
S50
YES
F.CRK4BAI=1
S44
F.CRK4BAI=1
YES
NO
S52
F.ABNORMAL←1
NO
END